

## 2022年9月 東京地区百貨店売上高概況

2022年10月25日

### I. 概況

1. 売上高総額	1,189億円余
2. 前年同月比(増減率)	27.0%(13か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭24.9%(87.9%)：非店頭44.0%(12.1%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 24店 (2022年8月対比±0店)
5. 総店舗面積	793,590㎡ (前年同月比：-1.2%)
6. 総従業員数	14,808人 (前年同月比：-4.6%)
7. 3か月移動平均値	2-4月 14.2%、3-5月 33.1%、4-6月 34.3%、 5-7月 30.2%、6-8月 21.6%、7-9月 26.5%

[参考] 2021年9月の売上高増減率は0.7%

#### 【特徴】

- (1) 9月の東京地区は、売上高27.0%増(13か月連続)、入店客数27.2%増(12か月連続)と共に二桁増となり、前月に続き前年実績を大きく上回った。前年の緊急事態宣言による営業制限の反動に加え、各社の催事や高額品の好調が売上を牽引した。コロナ前の2019年比では、消費増税前の駆け込み需要があったため、売上高は16.9%減、入店客数は26.2%減だが、特殊要因のない2018年比では0.5%増と復調傾向を強めている。
- (2) 商品別では、6か月連続で主要5品目全てプラスとなった。主力の衣料品(26.0%増/12か月連続)は、気温低下により婦人服では薄手のニットやジャケット、ジレ等秋物衣料が好調だった他、紳士服ではリモート通勤の解除によりスーツ、ジャケット等ビジネスウェアにも動きが見られた。
- (3) 身のまわり品(41.2%増/13か月連続)は、ラグジュアリーブランドが引き続き好調を維持している他、外出機会や旅行ニーズの増加を受け、トラベルバッグ等が好調だった。婦人靴ではブーツにも動きが見られた。雑貨(24.9%増/13か月連続)は、時計・宝飾品等高額品の増勢が続いている他、化粧品も外出機会の増加を背景に好調に推移した。特に口紅やアイシャドウ等秋のメイクアップアイテムが伸長した。
- (4) 食料品(24.7%増/13か月連続)は、手土産需要の継続で菓子が好調に推移し、2019年実績も上回った。惣菜はイエナカ需要がひと段落した半面、出勤の本格化により、通勤者の帰宅前の需要は戻りつつある。
- (5) 10月中間段階の商況は、前年比約23%増(10/16時点)で推移している。コロナ前の2019年比では約23%増と、消費増税の影響もあるが回復基調は続いている。

#### 【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日(前年同月比 ±0.0日)
- (2) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数18店舗)  
①増加した：15店、②変化なし：2店、③減少した：1店
- (3) 9月歳時記(敬老の日、彼岸)の売上(同上/有効回答数13店舗)  
①増加した：7店、②変化なし：5店、③減少した：1店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2022年9月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
<b>総 額</b>	<b>118,971,163</b>	<b>100.0</b>	<b>27.0</b>
紳士服・洋品	7,706,472	6.5	19.2
婦人服・洋品	18,517,210	15.6	31.3
子供服・洋品	1,675,120	1.4	19.1
その他衣料品	1,637,629	1.4	11.6
<b>衣 料 品</b>	<b>29,536,431</b>	<b>24.8</b>	<b>26.0</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>18,863,070</b>	<b>15.9</b>	<b>41.2</b>
化粧品	11,168,648	9.4	20.7
美術・宝飾・貴金属	14,109,020	11.9	33.4
その他雑貨	3,966,937	3.3	10.6
<b>雑 貨</b>	<b>29,244,605</b>	<b>24.6</b>	<b>24.9</b>
家 具	1,513,028	1.3	6.9
家 電	671,626	0.6	-22.0
その他家庭用品	2,993,637	2.5	15.5
<b>家 庭 用 品</b>	<b>5,178,291</b>	<b>4.4</b>	<b>6.4</b>
生 鮮 食 品	3,567,088	3.0	3.5
菓 子	8,475,293	7.1	44.0
惣 菜	7,914,217	6.7	26.7
その他食料品	10,093,963	8.5	18.5
<b>食 料 品</b>	<b>30,050,561</b>	<b>25.3</b>	<b>24.7</b>
<b>食 堂 喫 茶</b>	<b>2,206,180</b>	<b>1.9</b>	<b>78.3</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>1,894,826</b>	<b>1.6</b>	<b>32.2</b>
<b>そ の 他</b>	<b>1,997,199</b>	<b>1.7</b>	<b>8.3</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	1,299,906 千円	4.5
従 業 員 数	14,808 人	-4.6
店 舗 面 積	793,590 m <sup>2</sup>	-1.2

営 業 日 数	30.0 日	前年	30.0 日
---------	--------	----	--------

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、全ての品目がプラスとなった。その他の品目は、家電を除く全ての品目がプラスとなり、化粧品が13か月連続、美術・宝飾・貴金属が20か月連続でプラスとなったほか、菓子、惣菜が19か月連続でプラスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>27.0</b>	<b>—</b>	<b>13か月連続プラス</b>
紳士服・洋品	19.2	1.3	11か月連続プラス
婦人服・洋品	31.3	4.7	13か月連続プラス
子供服・洋品	19.1	0.3	3か月連続プラス
その他衣料品	11.6	0.2	7か月連続プラス
<b>衣料品</b>	<b>26.0</b>	<b>6.5</b>	<b>12か月連続プラス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>41.2</b>	<b>5.9</b>	<b>13か月連続プラス</b>
化粧品	20.7	2.0	13か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	33.4	3.8	20か月連続プラス*
その他雑貨	10.6	0.4	7か月連続プラス*
<b>雑貨</b>	<b>24.9</b>	<b>6.2</b>	<b>13か月連続プラス</b>
家具	6.9	0.1	3か月連続プラス
家電	-22.0	-0.2	2か月連続マイナス
その他家庭用品	15.5	0.4	2か月連続プラス
<b>家庭用品</b>	<b>6.4</b>	<b>0.3</b>	<b>6か月連続プラス</b>
生鮮食品	3.5	0.1	2か月連続プラス*
菓子	44.0	2.8	19か月連続プラス*
惣菜	26.7	1.8	19か月連続プラス*
その他食料品	18.5	1.7	3か月連続プラス*
<b>食料品</b>	<b>24.7</b>	<b>6.4</b>	<b>13か月連続プラス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>78.3</b>	<b>1.0</b>	<b>7か月連続プラス</b>
<b>サービス</b>	<b>32.2</b>	<b>0.5</b>	<b>6か月連続プラス</b>
<b>その他</b>	<b>8.3</b>	<b>0.2</b>	<b>2か月連続プラス</b>
<b>商品券</b>	<b>4.5</b>	<b>0.1</b>	<b>2か月連続プラス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・長柴 まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>